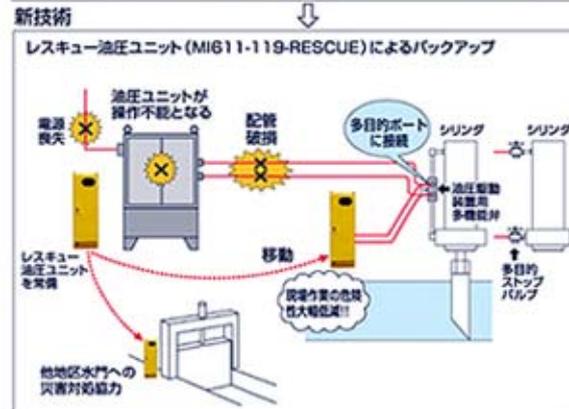
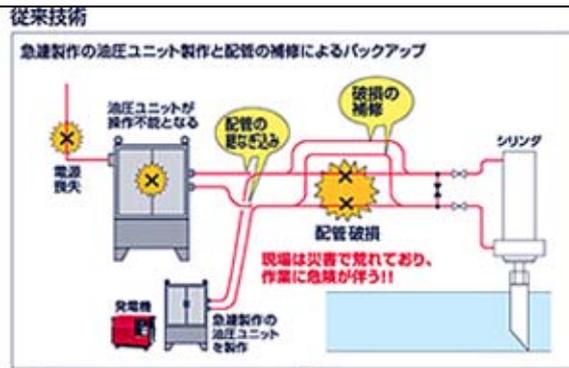


中国四国農政局新技術・新工法概要表(様式2)

新技術の名称	レスキュー油圧ユニット(MI611-119-RESCUE)		本概要書作成日	平成25年6月5日		
副題	壊滅的な災害に対応するために事前に用意する油圧ユニット設備		開発年度	平成21年度		
区分	1.工法	2.材料	工種分類 (2件まで記入可)	工種番号	工種分類	備考
	③.機械	4.製品		20		
5.その他						
開発会社(機関名)	株式会社ユーテック					
問合せ先	会社名	株式会社ユーテック	担当部署	営業部		
	住所	大阪府南河内郡太子町太子391-1				
	担当者氏名	内山貴平	TEL	0721-98-4419		
	FAX	0721-98-4719	関連するURL	http://www.utec-ucreation.co.jp		
開発の趣旨・目的	本技術は壊滅的な災害で、動力源の喪失や油圧配管の破損が発生した場合を想定、事前にレスキュー油圧ユニットを常備しておく技術である。従来は急遽油圧ユニットを製作、配管の補修を行い対処していた。本技術の活用により、急な災害にも対応できるものである。					
技術の概要	レスキュー油圧ユニット(作動油タンク・油圧ポンプ(エンジン及び手動)・油圧制御機器で構成)と油圧装置用多機能弁(又は多目的ストップバルブ)により、壊滅的な災害で油圧装置の動作が作動しなくなった場合にも、即対応できるものである。					
適用範囲(条件)	<ul style="list-style-type: none"> *ダム・河川用水門設備等の油圧装置が必要な設備 *事故・災害によりダム・河川用水門油圧設備が機能停止のため、近隣に重大な危険を及ぼす恐れのある設備。 					
特徴(メリット・デメリット)	<ul style="list-style-type: none"> 事前購入のレスキュー油圧ユニットにより、壊滅的な災害で電源喪失、配管破損等でもゲート操作が即対応できる。 *災害に備えて、レスキュー油圧ユニットを常備しておくこと。 *既存油圧装置へ事前に油圧装置用多機能弁又は多目的ストップバルブを設置しておくこと。 *壊滅的な災害発生時の下流地域における危険環境下の期間が、最小限に抑えられる。 *地震でも倒れないように据え付けておく。 *レスキュー油圧ユニットは、いつでも使えるよう、月・年点検をしておく。 					

説明図
構造図



①レスキュー油圧ユニットをシリンダ付近に置く。



②油圧駆動装置用多機能弁(または多目的ストップバルブ)の多目的ポートへ接続する。



③ゲートの開閉操作を行う。

特 許	1. 取得済() 2. 公開中() 3. 出願中 4. 出願予定 5. ㊟
実用新案	1. 登録済() 2. 出願中() 3. 出願予定 4. ㊟
キ ー ワ ー ド	①農業生産性向上 ②高付加価値農業 ③生活環境 ④自然環境 ⑤景観保全 ⑥生態系保全 ⑦国土保全 ⑧コスト縮減 ⑨施設管理 ⑩施工作業効率 ⑪施工精度 ⑫長寿命化 ⑬機能診断 ⑭予防保全 ⑮補修工法 ⑯災害復旧 ⑰安全性向上 ⑱その他
⑱ そ の 他	

発表文献 油空圧技術 2月号(平成25年) 発行 日本工業出版

事業名	事業主体(農政局、 都道府県名等)	工事名	施工年度	備考
農業農村整備事業以外の施工実績(最新10件まで)				
発注者	施工年度	工事名		